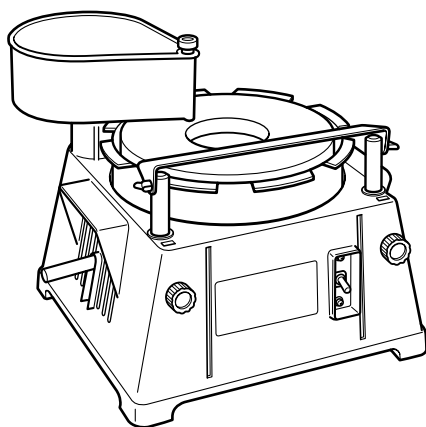
日立工機

日立刃物研磨機

205㎜　**GK 21S2**

取扱説明書

このたびは日立刃物研磨機をお買い上げいただき，ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

目　　次

ページ

電動工具の安全上のご注意 …………………………………… 2
刃物研磨機使用上のご注意 ………………………………… 5
各部の名称 …………………………………………………… 7
仕　　　様 …………………………………………………… 7
付　属　品 …………………………………………………… 8
別売部品 ……………………………………………………… 8
用　　　途 …………………………………………………… 9
作業前の準備 ………………………………………………… 9
ご使用前に …………………………………………………… 11
刃物台を使用する場合の研磨 ……………………………… 13
刃物台を使用しない場合の研磨 …………………………… 14
刃先角度について …………………………………………… 14
刃とぎ保持具を使用する場合の研磨 ……………………… 15
トイシの交換 ………………………………………………… 17
保守・点検 …………………………………………………… 17
ご修理のときは ……………………………………………… 18
全国営業拠点 ………………………………………………裏表紙

⚠警告，⚠注意，注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分していますが，それぞれ次の意味を表します。また，「**注**」の意味も説明します。

⚠ 警告 ： **誤った取扱いをしたときに，使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠ 注意 ： **誤った取扱いをしたときに，使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお，「⚠**注意**」に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので，必ず守ってください。

注 ： **製品の据付け，操作，メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- 火災，感電，けがなどの事故を未然に防ぐために，次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に，この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上，指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警　告

① 作業場は, いつもきれいに保ってください。

- ちらかった場所や作業台は，事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 電動工具は，雨中で使用したり，湿った，または，ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。

- 電動工具を使用中，身体を，アース(接地)されているものに接触させないようにしてください。
  (例えば，パイプ，暖房器具，電子レンジ，冷蔵庫などの外枠)

④ 子供を近づけないでください。

- 作業者以外，電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外，作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は，きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で，子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。

- 安全に能率よく作業するために，電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小形の電動工具やアタッチメントは，大形の電動工具でする作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は，回転部に巻込まれるおそれがあるので，着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には，ゴム手袋と滑止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は，帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警　告

⑨ 保護メガネを使用してください。
- 作業時は，保護メガネを使用してください。また，粉じんの多い作業では，防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。
- 騒音の大きい作業では,耳栓,イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って電動工具を運んだり，コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱，油，角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
- 加工する物を固定するために，クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で，両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ，バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は，注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし，よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は，取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し，損傷している場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 継ぎ(延長)コードを使用する場合は，定期的に点検し，損傷している場合には交換してください。
- 握り部は，常に乾かしてきれいな状態を保ち，油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は，電動工具のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いてください。
- 使用しない，または，修理する場合。
- 刃物，トイシ，ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他，危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは，必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に，調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で，スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源に差し込む前に，スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合，キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。

⚠ 警　告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は，取扱方法，作業のしかた，周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは，使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に，保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し，正常に作動するか，また，所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態，部品の破損，取り付け状態，その他，運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー，その他の部品交換や修理は，取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は，使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると，事故やけがの原因になる恐れがあるので，使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は，専門店に依頼してください。

- この製品は，該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は，必ずお買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
  修理の知識や技術のない方が修理すると，十分な性能を発揮しないだけでなく，事故やけがの原因になります。

刃物研磨機使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが，刃物研磨機として，さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① **本機は，銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると，モーターの焼損、破損およびけがの原因になります。詳細は，11ページの「1．使用電源を確かめる」の項を参照してください。

② **必ずアース（接地）してください。**
故障や漏電などのとき，感電のおそれがあります。詳細は，9ページの「1．アース（接地），漏電しゃ断器の確認」の項を参照してください。

③ **使用するトイシは，トイシの最高使用周速度が33 m／s｛2000 m／min｝以上で，かつ正規寸法のものであることを確認してください。**
正規寸法以外のトイシを使用しますと，トイシが破壊し，けがの原因になります。トイシ寸法は7ページの仕様欄を参照してください。

④ **トイシは正規の面で研削してください。**
トイシは正規の面で研削しないと，破壊し，けがの原因になります。

⑤ **トイシにヒビ，割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。**
トイシにヒビ，割れなどがあると，回転力によりトイシが破壊し，けがの原因になります。

⑥ **保護おおい（ガードカバー）をはずして使用しないでください。**
保護おおいなどが確実に取付けられていることを確認してください。

⑦ **使用中は，回転部に手などを触れないでください。**
けがの原因になります。

⑧ **使用中，機体の調子が悪かったり，異常音がしたときは，直ちにスイッチを切って使用を中止し，お買い上げの販売店，または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると，けがの原因になります。

⑨ **誤って落としたり，ぶつけたときは，トイシや機体などに破損やヒビ，変形がないことをよく点検してください。**
破損やヒビ，変形があると，けがの原因になります。

⑩ **作業中は必ず保護メガネをご使用ください。**

⑪ **刃物は，トイシに強く押付けないでください。**
刃物をトイシに強く押付けると刃先がトイシにくい込みけがの原因となります。

⚠ 警　告

⑫ **彫刻刀などの刃幅の狭い刃物は，トイシの左側で研磨してください。**
右側で研磨すると刃先がトイシにくい込み，けがの原因となります。

⑬ **トイシの水抜きを十分にしてください。**
使用後，トイシをしばらく空転させ，水分を出しきってから保管してください。凍結するとトイシが破壊し，けがの原因になります。

⑭ **（事業者の方へ）**

(1) トイシの交換・試運転は，法・規則で定める特別教育を受けた人にさせてください。
トイシの交換・試運転をする人には，法令で定められた特別教育をしなければなりません。

関連法令	労働安全衛生法	第59条
	労働安全衛生規則	第36条
	安全衛生特別教育規程	第　2条

(2) 粉じんを発生する作業に関しては換気の実施，排気装置，除じん装置，呼吸用保護具などの使用が定められた「粉じん障害防止規則」があります。この規則に従って正しくご使用ください。

⚠ 注　意

① **トイシや付属品は，取扱説明書に従って確実に取付けてください。**
確実でないと，はずれたりし，けがの原因になります。

② **新しいトイシを取付け，はじめてスイッチを入れるときは，トイシの露出部から一時身体を避けてください。**
トイシが破壊したとき，けがの原因になります。

③ **試運転を励行してください。**
試運転時間は12ページの「7．試運転をする」の項を参照してください。
試運転せずに作業開始すると，思わぬけがの原因になります。

④ **トイシは，いつも良い切れ味で使用してください。**
トイシはまめにドレッシングしてください。研削できないトイシはモーターに無理をかけ能率も悪くなります。

⑤ **トイシ締付け部品の扱いをていねいにしてください。**
トイシ軸（フランジ），ホイルワッシャなどトイシ締付け部品は傷をつけないようにご注意ください。トイシが破壊する原因になります。

⑥ **1回の使用時間は，20分以内にしてください。**
20分を越えての使用は本機の寿命を短くする原因となります。

各部の名称

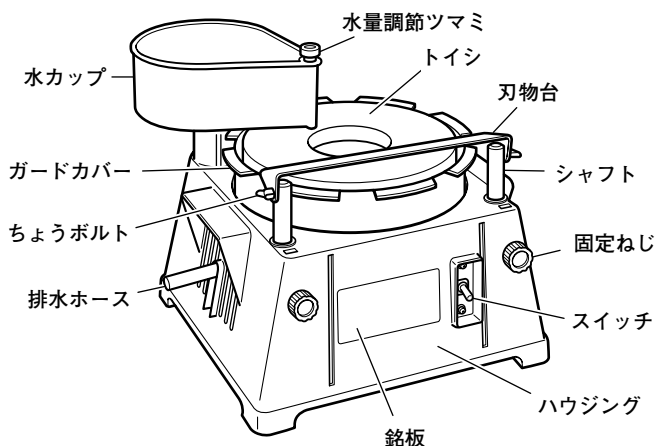



図　1

仕　　様

形　　　名	GK 21 S 2
使 用 電 源	単相交流 50／60 Hz 共用
	電圧 100 V
モ ー タ ー	開放形コンデンサラン単相誘導電動機
入　　　力	190 W　50 Hz　　180 W　60 Hz
出　　　力	80 W
定　　　格	20 分
全負荷電流	2.0 A　50 Hz　　1.9 A　60 Hz
無負荷回転数	460 min^{-1} {460 回／分} 50Hz　560 min^{-1} {560 回／分} 60Hz
トイシ種類	金具付特殊水トイシ {A・1000・M・V (平形)}
トイシ寸法	外径 205 ×厚さ 20 ×内径 80 mm
トイシ最高使用周速度	33 m／s {2000m／min}
機体の大きさ	幅 330 ×奥行 326 ×高さ 294 mm
質　　　量	8 kg
コ　ー　ド	3 心キャブタイヤケーブル 2.5 m

付　属　品

①トイシ（1個）
（本体装着）

②刃物台（1個）

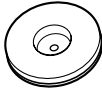
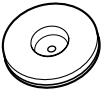
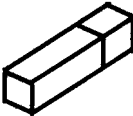
使い方は13ページ参照

③トイシ取付けスパナ
（1個）

使い方は17ページ参照

図　2

別売部品

……………　（別売部品は生産を打ち切る場合があります。）

①金具付き特殊水トイシ（WA 100MB）
（コード番号　960024）
荒研磨用のトイシです。

寸法　外形205㎜
厚さ　20㎜
内径　80㎜
粒度100番

②金具付き特殊水トイシ（WA 6000MV）
（コード番号　960025）
仕上研磨用のトイシです。

寸法　外形　205㎜
厚さ　20㎜
内径　80㎜
粒度6000番

③刃とぎ保持具セット
（コード番号　987491）
かんな刃の研磨作業に用います。

④ブリックストン
（コード番号　965094）
トイシの目づまり防止用のドレッシング作業に用います。

図　3

用　　途

木工用刃物の刃とぎおよび手道具刃物（かんな刃，手のみなど），一般刃物の刃とぎ

作業前の準備

ご使用になる前につぎの準備をすませてください。

1．アース（接地），漏電しゃ断器の確認………

⚠　警　告
• アース（接地）線をガス管に取付けると爆発のおそれがありますので，絶対にしないでください。

ご使用にさきだち，本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置（以下，漏電しゃ断器と言います。）が設置されているか，確認してください。

また，本機は必ずアース（接地）をしてください。定格感度電流15 mA以下，動作時間0.1秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器の設置されている電源でお使いになる場合でも，より安全のためにアース（接地）されるようおすすめします。

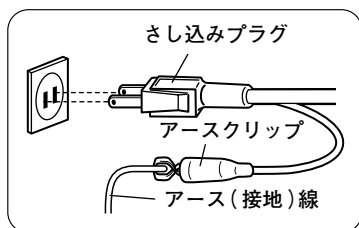



図　4

アース（接地）をする場合は，左図のアースクリップをお使いになると便利です。

アースクリップ，アース（接地）線は，念のために異常のないことを確認してからご使用ください。テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら，アース（接地）線の先端と本体金属外枠との間の導通を確認してください。

地中にアース極（アース板，アース棒）を埋めアース（接地）線を接続するなどのアース工事は，電気工事士の資格が必要ですので，お近くの電気工事店にご相談ください。漏電しゃ断器やアース（接地）については，つぎの法規がありますので，参照してください。

労働安全衛生規則（第333条 漏電による感電の防止，第334条 適用除外）
電気設備の技術基準（第18条 接地工事の種類，第28条 機械器具の鉄台および外箱の接地，第41条 地絡しゃ断装置等の施設）

2．継ぎ（延長）コード………

⚠ 警　告

- **継ぎ（延長）コードは，損傷のないものを使用してください。**

電源の位置がはなれていて継ぎ（延長）コードが必要なときは，製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため，電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてお使いください。

心線断面積	最大長さ
1．25 mm²	10 m
2 mm²	15 m
3．5 mm²	30 m

左の表は，コードの太さ（心線断面積）によって，本機に使用できるコードの最大長さを示します。

これ以上長いコードを使用すると，電流が十分流れず製品の能率が落ち，故障の原因となります。

継ぎ（延長）コードは必ずアース（接地）できるアース（接地）用の１心をもつ３心キャブタイヤケーブルをお使いください。

3．ビニールワイヤを取る………

水カップに水量調整ツマミ固定用のビニールワイヤが付いていますので，取り去ってください。

4．水の用意と排水の処理………

⚠ 警　告

- **研磨に使用する水には，不凍液，研削液などを混ぜないでください。**
  トイシが破壊しけがの原因になります。

水トイシでの研磨ですから，普通の水を用意してください。使用済の水は排水ホースから出ますので，受皿を用意されるか，排水できる場所で使用してください。

5．作業環境の整備・確認………

作業する場所が，２ページ「電動工具の安全上のご注意」の注意事項にかかげられている適切な状態になっているかどうか確かめてください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては，法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう，規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ，しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠　警　告
• **ご使用前に次のことを確認してください。１～５項については，電源プラグを電源にさし込む前に確認してください。**

１．使用電源を確かめる………

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとトイシや機体が破損するおそれがあります。また，直流電源，エンジン発電機，昇圧器などのトランス類で使用しないでください。製品が故障するだけでなく，事故の原因になります。

２．スイッチが切れていることを確かめる………

スイッチが入っているのを知らずに，電源プラグを電源にさし込むと不意に起動し，思わぬ事故の原因になります。

スイッチ（図１参照）は「入」側に倒すと入り，「切」側に倒すと切れます。スイッチが切れていることを必ず確認してから電源プラグを電源にさし込んでください。

３．トイシを確かめる………

⚠　警　告
• **トイシにヒビ，割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。異常があると，トイシが破壊し，けがの原因になります。**

指定されたトイシを使用し，ヒビ，割れがないことを確認してください。

４．トイシの締付けを確かめる………

⚠　警　告
• **トイシ締付けナットがゆるんでいるとトイシ軸が回転したときトイシの破壊，事故の原因になります。**

工場出荷時，十分締付けておりますが念のためトイシ締付用ホイルワッシャを確実に締付けてください。詳細は17ページの「トイシの交換」の項を参照してください。

5．保護おおいの取付けを確かめる………

⚠ 警　告
• 保護おおい（ガードカバー）が確実に取付けてあることを確認してください。

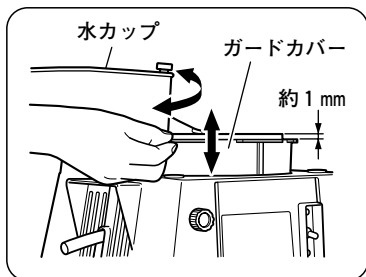



図　5

保護おおい（ガードカバー）は万一トイシが割れた場合などの災害防止のものです。念のため確実に取付けてあるか確認してください。

また，ガードカバーの上面とトイシの上面のスキマが約１㎜になるように調整してください。

なお，トイシが磨耗したら適時調整してください。

6．電源コンセントの点検………

電源プラグをさし込んだ時ガタガタだったり，すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと過熱して事故の原因になります。

7．試運転をする………

トイシにヒビ，割れがあるのを気付かずに作業しますと非常に危険です。

作業前には，必ず試運転をして異常のないことを確認してください。

試運転の時間は

新品トイシ交換のとき…………………３分間以上

その日の作業を始めるとき……………１分間以上　です。

刃物台を使用する場合の研磨

1．研磨ガイド，刃物台の高さ調整と角度調整………

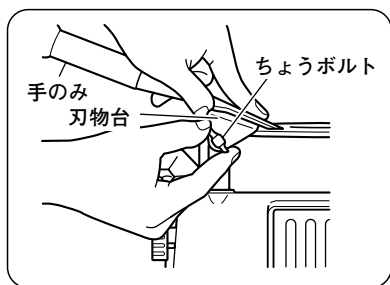



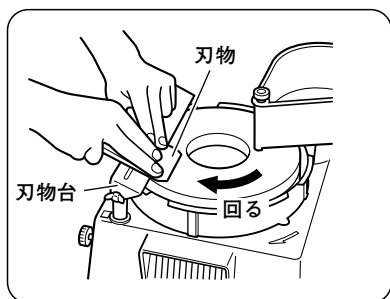
図　6

(1) 刃物台の高さは，固定ねじをゆるめて調整します。
(2) 刃物台の角度調整は，刃物台の両端のちょうボルトをゆるめ，刃物の刃先角度に刃物台を合わせてちょうボルトを締付けます。
(3) 刃物を一旦トイシから離します。

2．トイシへの注水………

刃とぎ保持具を使用しての研磨の場合と同じ要領でトイシへ注水してください。

3．研　　磨………

図　7

刃物を刃物台の上にのせトイシ面と刃先角度が合っているのを確認しながら刃物をトイシ面に軽く押当てます。

刃物台を使用しない場合の研磨

1．刃物台の取りはずし………

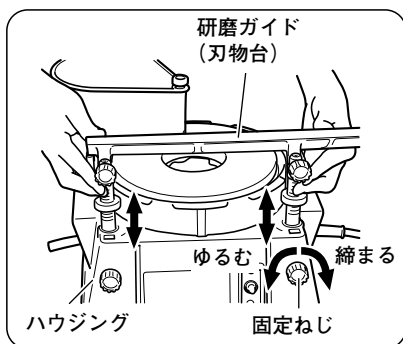



図　8

刃物台はハウジングに固定ねじで固定してありますので，この固定ねじをゆるめてから上方または下方に動かし取付け，取りはずしをします。

取付け後は，固定ねじを締めてください。

2．研　　磨………

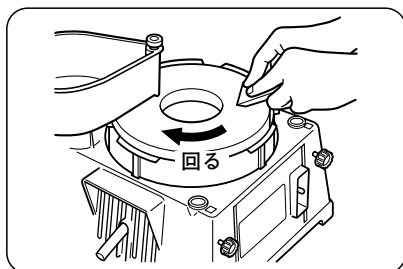



図　9

刃先を向こう側に向けトイシに静かに押付けます。一般の刃物（包丁など）も同様に研磨します。

刃先角度について

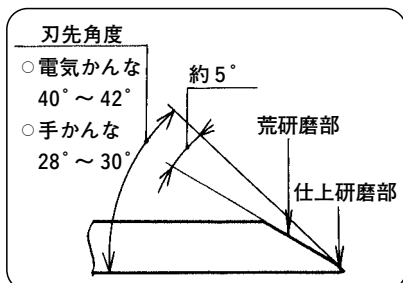



図　10

荒研磨と仕上研磨の角度は次のようにすることをおすすめします。

荒 研 磨：仕上研磨部より約5°鋭角にします。

仕上研磨：荒研磨の後，刃先を研磨し刃先角度を出すようにします。

刃とぎ保持具を使用する場合の研磨 ……〔別売部品〕

1．かんな刃の取付け………

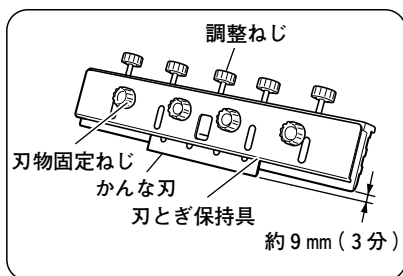



図 11

刃物固定ねじをゆるめ，刃とぎ保持具の取付け部に刃物をはさみ込んでください。

このとき刃物の刃先と刃とぎ保持具の先端は約９mm（３分）程度の寸法が確保できるようにします。左右がほぼ平行になるようにしてから刃物固定ねじで軽く固定します。

2．研磨角度の調整………

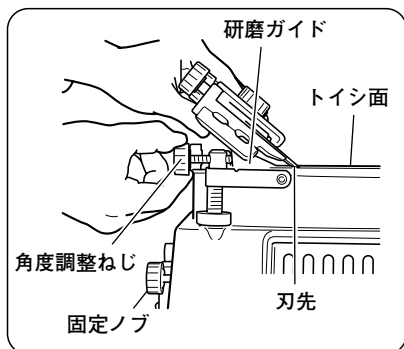



図 12

(1) 研磨ガイドを水平よりやや右下がりになるように固定ノブをゆるめて調整します。刃物を取付けた刃とぎ保持具を研磨ガイドにのせて，刃先の角度（研磨面）をトイシ面にほぼ合わせます。角度調整ねじを左右どちらかへまわして合わせます。

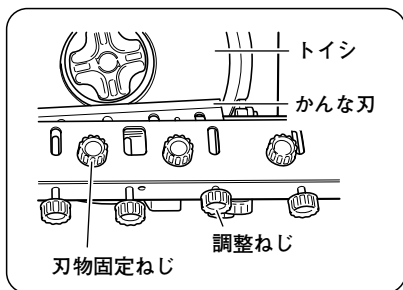



図 13

(2) 研磨ガイドを上下させ，ほぼ刃先とトイシ面が接するようにします。研磨ガイドは固定ねじをゆるめ，ナットを矢印方向にまわしますと上下します。次に刃先の角度をトイシ面に合わせます。

(3) 刃とぎ保持具の調整ねじで刃物を送り，トイシ右端と刃物右先端が接するようにして，右側の刃物固定ねじを締めてください。

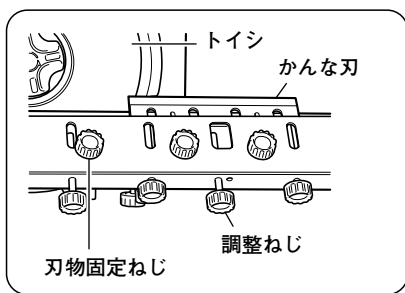



図　14

(4) 刃とぎ保持具を研磨ガイドに沿って右に移動し，左側の調整ねじで刃物を送り，トイシ右端と刃物左先端が接するようにした後，全部の刃物固定ねじを締めてください。
(5) 刃先を一旦トイシ面から離します。

3．トイシへの注水………

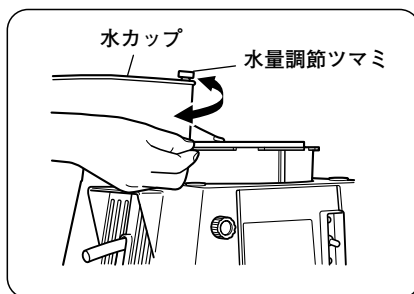



図　15

(1) 水カップに水を入れ，スイッチを入れ運転します。
(2) 水カップの水量調整ツマミをまわして，水を滴下させ，矢印方向に水カップを動かしながらトイシ全面に水を含ませます。トイシ面に水が残るようになったら，トイシへの注水は完了です。
(3) 水カップの注水口をトイシの内側にセットし，トイシ面に水がわずかに残る程度に水を出します。

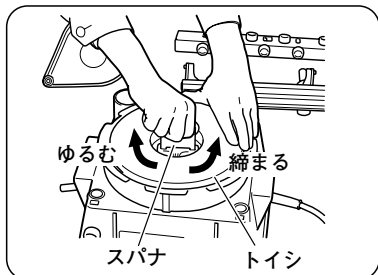
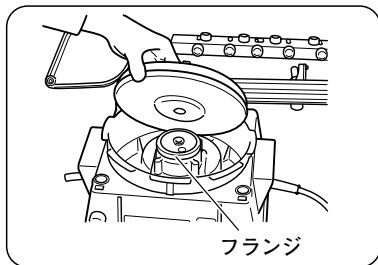
4．研　　磨………

(1) 刃物を取付けた刃とぎ保持具を研磨ガイドにセットします。
(2) 刃とぎ保持具を左右に移動し，刃物を研磨します。
(3) 研磨量は，調整ねじで刃物を送込んで与えます。

トイシの交換

⚠ 警　告

・万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，電源プラグを電源から抜いておいてください。

図　16

(1) 刃物台をはずし，トイシの外周を押さえて付属のスパナでトイシ締付用ホイルワッシャをゆるめます。トイシ締付用ホイルワッシャは左ねじになっていますから，右へまわすとゆるみ，左へまわすと締まります。
　ボルトをはずしますと，トイシがはずせます。

(2) 取付けは，逆の手順です。

図　17

注　**・フランジとトイシの間にゴミなどが付かないように取付けてください。**

保守・点検

1．トイシのドレッシング………

図　18

トイシが目づまりすると研磨能力が低下し刃先が焼ける原因になります。定期的にドレッシングしてください。

注　**・ドレッシングするときは，トイシに水をかけないでください。**

(1) スイッチを入れてトイシを回転させます。

(2) トイシの左側でドレッシングします。
　トイシにブリックストンを軽く押付け，トイシの中心部から，外側にゆるやかに動かしながらドレッシングします。

2．トイシの取替え時期………

トイシの厚みが金具も含めて13㎜程度に磨耗したら新品と取替えてください。

3．清　　掃………

作業終了後は研磨粉を取除き乾いた布で水気をふきとってください。

4．点　　検………

(1) トイシにヒビ，割れがないか定期的に点検してください。
(2) 各部の取付けねじなどでゆるんでいるところがないか点検し締直してください。

5．製品や付属品の保管………

使用しない製品や付属品の保管場所として，下記のような場所は避け，安全で乾燥した場所に保管してください。

- ○子供の手が届いたり，簡単に持ち出せる場所
- ○軒先など雨がかかったり，湿気のある場所
- ○温度が急変する場所
- ○直射日光の当たる場所
- ○引火や爆発のおそれがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しない。

長期間保管する時は，特に刃物保持具と研磨ガイドについた汚れを十分にとり防錆油を塗布してください。

ご修理のときは

この機体は，厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は，決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは，裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他，部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら，ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

拠点	郵便番号	住所	電話
第一営業部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟）	☎(03) 5783-0626㈹
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目（日生ビル）	☎(011) 271-4751㈹
東 北 支 店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号	☎(022) 288-8676㈹
東 京 支 店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟）	☎(03) 5783-0629㈹
中 部 支 店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル）	☎(052) 262-3811㈹
北 陸 支 店	〒920-0031	金沢市広岡二丁目13番37号（ST金沢ビル）	☎(076) 263-4311㈹
関 西 支 店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル）	☎(06) 4796-8451㈹
中 国 支 店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号（第一生命ビル）	☎(082) 228-0537㈹
四 国 支 店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981	☎(087) 841-6191㈹
九 州 支 店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号	☎(092) 621-5772㈹

● 電動工具ご相談窓口 ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル　0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00～午後5：00）

日立工機株式会社

部品コード　H99300105　N